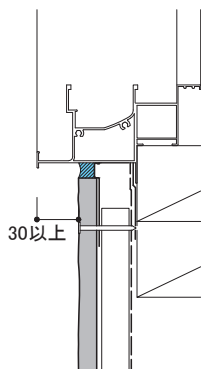


1-23 各部の基本納まり図

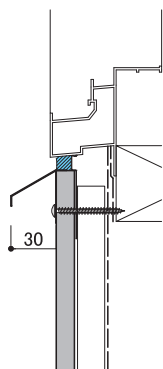
9) 開口部下側

①基本納まり

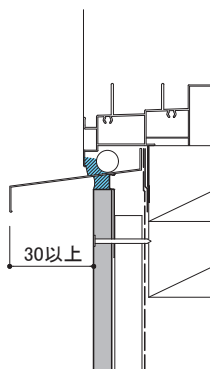
- サッシはモエンの厚みを考慮した外付けサッシまたは、半外付けサッシを使用し、サッシ下枠の水切の出幅はモエンの表面より30mm以上あるものを選定してください。水切の出が30mm以上確保できない場合は、雨跡防止水切や市販の水切(現場調達品)を取り付け、出幅を確保してください。



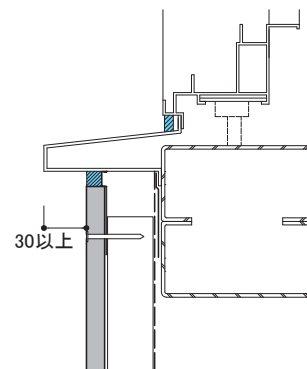
＜サッシ単体の場合＞



＜雨跡防止水切仕様の場合＞



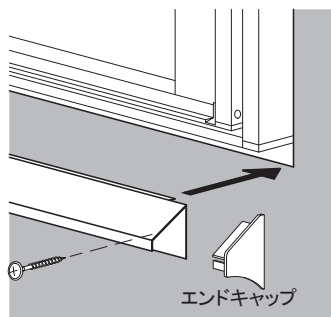
＜水切(現場調達品)仕様の場合＞



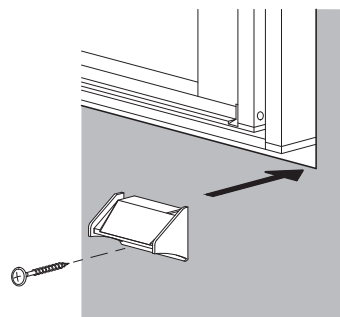
- モエン施工時に不陸が生じる場合、あらかじめ不陸に応じた厚みのスペーサーで調整してください。

②ニチハ純正雨跡防止水切

- 長尺鋼板タイプ、樹脂製ピースタイプの施工詳細は、次ページをご参照ください。
(各梱包に取扱説明書を同梱。)
- 各雨跡防止水切は同梱の専用ビスにて、所定の本数でモエンに留め付けます。



＜雨跡防止水切:長尺鋼板タイプ＞



＜雨跡防止水切:ピースタイプ＞



注意

サッシ下の出幅が少ない場合や水切がない場合、サッシ枠やガラス上の雨水や結露水がサッシ角部からモエンに伝い、それが繰り返されると汚れが発生し、冬期にはその伝い水が氷結して、モエンの機能低下をまねくおそれがあります。
地域、用途面に応じて必ずサッシ水切を使用してください。

サッシ水切を使用しないと...



・伝い水や結露水がつららとなってモエン表面に氷結。
→凍害を引き起こします。



・モエン表面の塗膜が剥がれている。
→凍害(塗膜剥離)が発生します。

